

令和8年2月3日

## 乾燥による果樹の凍乾害対策について

県北農林事務所経営・普及部門

1月上旬以降、降水量が少なく乾燥傾向にあり、今後（2月）も乾燥が見込まれます。このため、下記対策を参考に農作物管理をお願いします。

表1 降水量と平均気温の推移（降水量 常陸太田中野 平均気温 水戸 アメダスデータ）

	降水量（mm）			平均気温（℃）		
	R7-8	平年	平年差	R7-8	平年	平年差
R7 10月	153.5	162.5	-9	17.5	16.6	0.9
11月	11.5	73.5	-62	11	10.8	0.2
12月	77.5	45.9	31.6	6.4	5.6	0.8
R8 1月	0	46.7	-46.7	3.7	3.3	0.4
2月	—	49.3	—	—	4.1	—
3月	—	92.8	—	—	7.4	—

関東甲信地方の向こう3か月予報（2026年1月20日発表）

- ・降水量 2月 平年並みか少ない見込み 3・4月 ほぼ平年並みの見込み  
・平均気温 2月 ほぼ平年並み 3・4月 高い見込み

## &lt;対策&gt;

## （全般）

- ・ほ場が乾燥しない程度にかん水を行う。なお、かん水は昼間の暖かい時間に行う。
- ・若木や秋植えした苗木では、主幹から主枝分岐部へのワラ巻きなどの防寒対策、株元への敷ワラなどによる土壌乾燥防止を行う。

## （ブドウ）

- ・枯込み防止のため、大きな切り口には必ずゆ合剤を塗布する。
- ・結果母枝の登熟不良樹では枝数を多くおき、発芽数の確保を図る。
- ・ハウスブドウでは被覆前から日中の気温の高い時間に散水し地温確保を図る。
- ・ハウスは午後早めに密閉し、ハウス内に余熱を確保する。
- ・被覆後は、カーテンを閉めて保温に努めるとともに、暖房機加温もしくはストーブ加温により低温被害を回避する。